

みんなの
集落研究所
の概要 と

「賢く縮む」から「賢く挑戦する」へ

美咲町の小規模多機能自治

特定非営利活動法人みんなの集落研究所

首席研究員 阿部 典子



特 定 非 営 利 活 動 法 人

みんなの集落研究所

首 席 研 究 員

技術士：都市及び地方計画

一級造園施工管理技士

二級建築士 福祉住環境コーディネーター2級

阿 部 典 子

- ・ 岡山県井原市美星町出身
- ・ 山口大学社会学修士課程修了
- ・ 造園・設計・まちづくりのコンサルタント
- ・ 2017年「NPO業界」入り岡山県内のまちづくりを支援するNPO法人
(防災、街並み保存、ユニバーサルデザインのまちづくり)
- ・ NPO法人地域資源活用事業マネージャー
(地域の宝と得意を活かす体験プログラムの仕組みづくり)
- ・ 岡山県中山間地域協働支援センターのマネージャー・コーディネーター
- ・ 2013年4月 みんなの集落研究所を設立
 - ー越境プロジェクト(生活課題調査)
 - ー新総合事業体制づくり支援(地域福祉)
 - ー個別地域(知和⇒上加茂、宇治、上山、鶴海、県主、川辺)
 - ー地域運営組織支援(美咲町、津山市、鏡野町、笠岡市、倉敷市、井原市、新見市、高梁市、岡山県全域)
 - ー発展テーマ(空き家、福祉、移動、交流人口、農村振興)

特定非営利活動法人 みんなの集落研究所

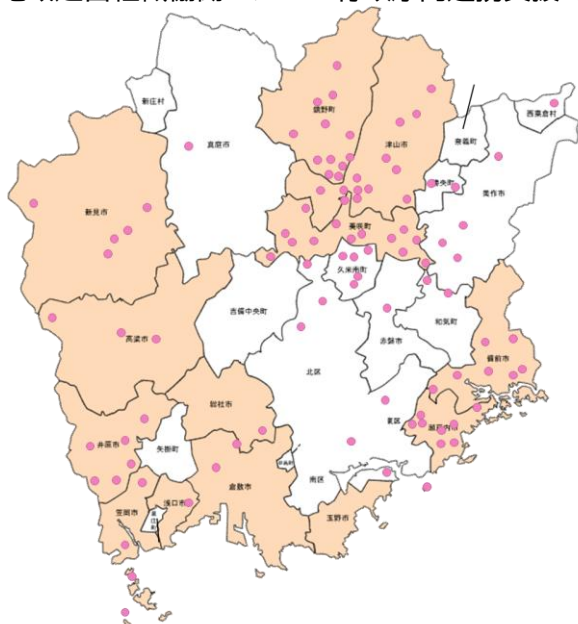
【ミッション】
だれもが、そこに住みたい、暮らしたいと思う場所へ住み続けられる、
その選択ができる安心感と、その希望を実現する支援

事業内容

- ①個人・家族の課題解決の仕組みづくり
- ②集落・組織の課題解決の仕組みづくり
- ③地域を支える人材の支援・育成

支援に取り組んできた地域

地域での話し合いの場づくり、組織の見直し・再編、
地域運営組織協働のための行政庁内連携支援 など



内容・テーマ

- ・住民アンケート
- ・地域計画づくり
- ・助け合い福祉
- ・防災、災害支援
- ・移動買物交通
- ・小さな拠点
- ・空き家・農地 など



地域運営組織の基盤づくり



地域自治づくり
=課題を中心に据えた地域づくり

事業内容詳細

※一部抜粋

『美咲町多世帯居住コミュニティ推進事業業務』

美咲町内13のまちづくり協議会が課題解決型の取り組みを推進できるように制度設計・庁内連携体制づくり・地域代表者への啓発・個別地域への伴走支援を実施。



『鏡野町安心して暮らせる生活環境支援事業』

鏡野町内12の地域づくり協議会の地域づくり支援改善に向けて、内部戦略会議や町長との共有や改善提案及び職員研修を実施。



『笠岡市市民活動支援センターアドバイザー業務』

笠岡市市民活動支援センターを拠点に、地域に出向く現場の支援について相談・助言・情報提供等による市職員への支援。笠岡市内24のまちづくり協議会支援の改善に向けた制度設計支援を実施。



『岡山県地域運営組織体制整備推進業務』

岡山県内の市町村に対して、地域運営組織推進のための制度づくり支援及び県内市町村の地域運営組織推進状況に関する調査業務を実施。

『備中県民局大学生ハンズオン支援業務』

県内の大学生人材と地域課題解決活動を図る地域とのマッチング・コーディネート支援を実施。

『新見市でのGoトレ実証実験プロジェクト』

新見市、新見公立大、岡山トヨタ自動車、トヨタ・モビリティ基金、みんなの集落研究所の5者による産官学民の包括連携協定による移動課題の解決、介護予防・健康増進、コミュニティ形成を図る取り組みをモデルケースに移動課題の仕組みづくりの支援。

NPO法人みんなの集落研究所

集落支援に特化した民間のシンクタンク(NPO)です。(2013年4月1日設立)

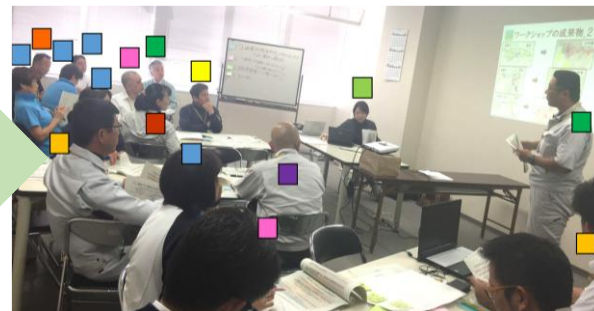
だれもが、そこに住みたい、暮らしたいと思う場所へ住み続けられる、
その選択ができる安心感と、その希望を実現する支援

【モットー】

地域での話し合いの場づくり、地域組織の見直し・再編、
アンケート調査、ヒアリング調査、事業化支援



地域運営組織との協働のための
行政庁内連携のご支援



地域における主要課題である「交通」「空き家」「福祉(地域支援)」「
教育(学校)」に関する支援の取り組み



地域おこし協力隊・集落支援員の導入支援
ネットワーク化のサポート





地域の助け合い
しくみ



見守り



地域主体の
計画づくり
ビジョン共有



防災



地域に
買い物を！



通院などの
移動



人が育てら
れる地域に



子ども・高校生
大人も

つどいの場
から



アンケート
からの地域
づくり



多世代
参加の
地域づくり



運営体制の
見直しを



空き家
×居場所
×移住受入



地域の
支事
支え合いと
生きがい



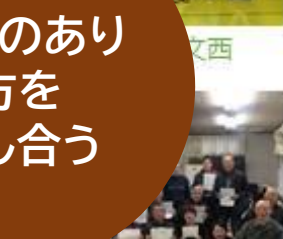
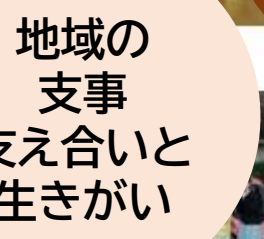
農地
新規就農者
獣害対策



地域のあり
方を
話し合う



などなど♪



美作市上山

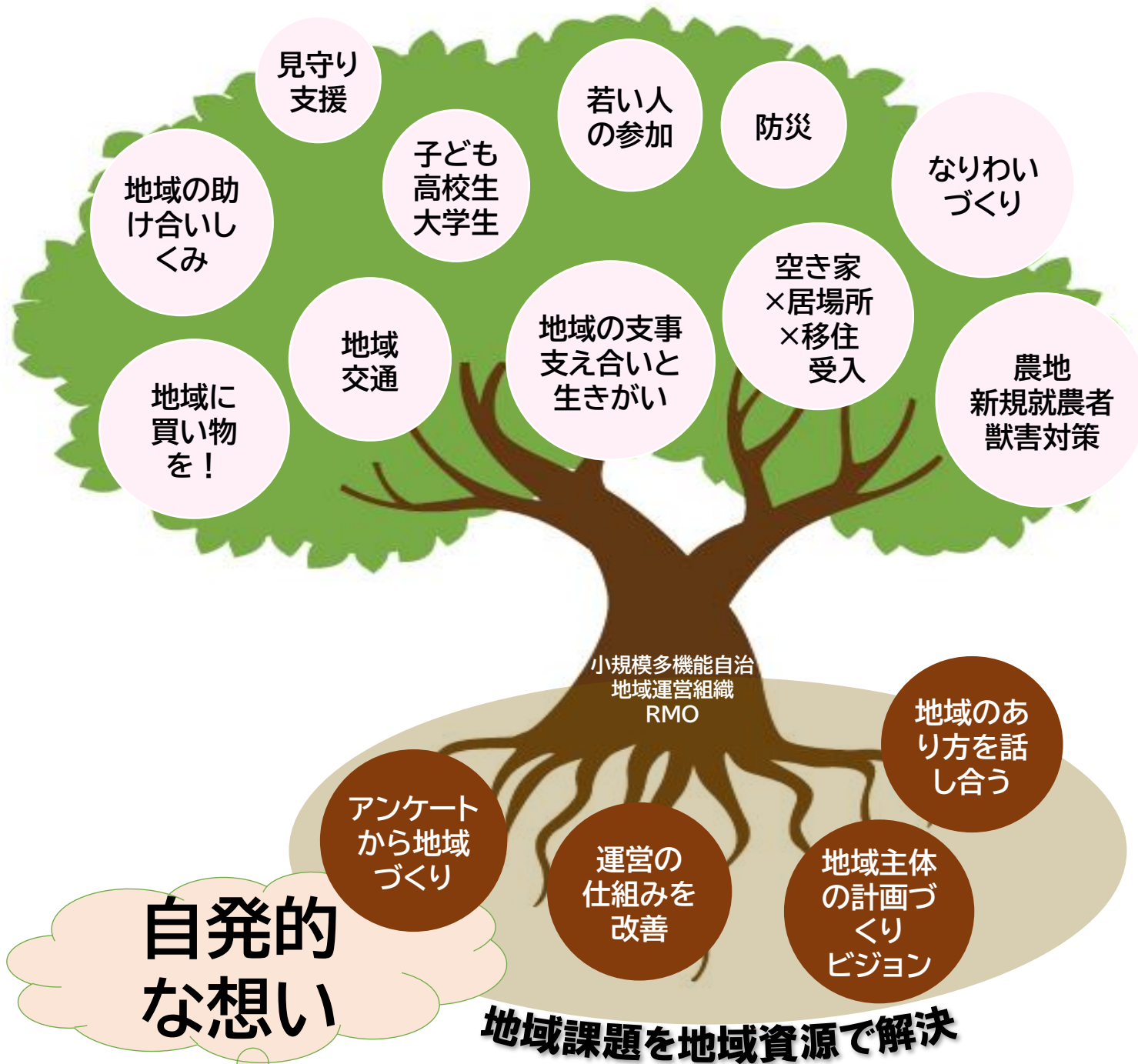
美作市

倉敷市大茅

久米南町松

久米南町下弓削

地域を 支える 地域の一 体的な 取組み

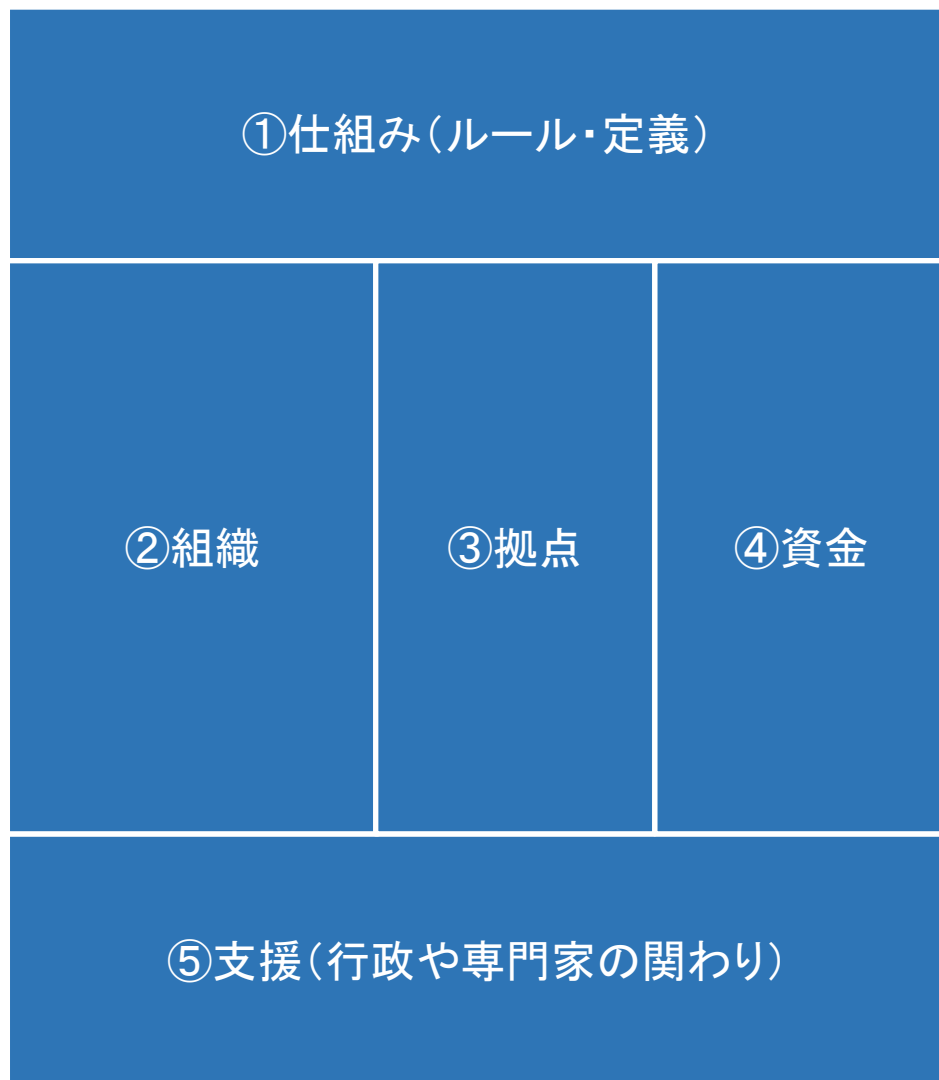


地域における 課題解決への エンパワメント

∴

地域が自ら課題に向き合い
自ら行動しはじめることを支える

地域組織の環境整備に必要な要素の定義・提言



環境整備のために同時並行で

1. 庁内の各部署との連携調整

2. 地域代表者の会議での合意形成

3. 個別の地域におけるモデルの創出や移行支援

美咲町版小規模多機能自治の進捗状況（2026年6月時点）

まちづくり協議会	自治会数	2018年 H30 年	2019年 R1年	2020年 R2年	2021年 R3年	2022年 R4年	2023年 R5年	2024年 R6年	2025年 R7年	2026年 R8年 ~
加美 かみ	9	美咲町版小規模多機能自治の推進	地域福祉計画のためのまちづくりワークショップ			→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→
三保 みほ	4								空き家活動	→
打穴 うたの	5				→→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→	
大井和 おおはが	6				→→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→	
倭文西 しとりにし	5			→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→	
西川 にしかわ	4									
井和 いはが	5						防災活動 WS	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→
江与味 えよみ	1				→→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→
北和気 きたわけ	9				→→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→
南和気 みなみわけ	11						→→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→
吉岡 よしおか	9					防災活動 WS	→→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→
柵原本庁 やなはらほんちょう	9									
飯岡 ゆうか	4					→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→	→→→→→→→→ →→→→→→→→

→ アンケートに向けての話し合い

→ アンケートの実施（配布⇒集計）

→ アンケート結果の共有・話し合い（地域みらい計画）

◎ 小規模多機能自治認定

→ 計画をもとにした活動

美咲町版小規模多機能自治の進捗状況（2026年6月時点）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	備考
協議会/段階	アンケート 検討	アンケート 実施(配布)	配布数 回収率	アンケート結 果をもとにし た話し合い (WS)	地域みらい 計画	計画等をもと にした 課題解決活動	
加美 かみ	2022年 12月～	2023年 4月	2,118枚 90.2%	2023年 10月～	2025年12月	2024年4月～	・住民全員アンケートをきっかけに定期的な話し合い場も継続実施中。 ・部会「草刈り鳥獣害」「見守り防災助け合い」「DX・情報発信」「子ども居場所」「空き家移住関係人口」
三保 みほ						2025年6月～	・三保協議会として自治会長の集まりを3ヶ月に1回実施。 ・空き家対策から取組みはじめ、各自治会の小地域ケア会議とも連携。
打穴 うたの	2021年 6月～	2021年 10月	584枚 89.2%	2022年 2月～	2024年4月	2022年4月～	・住民全員アンケートをきっかけに定期的な話し合い場も継続実施中。 ・「福祉防災見守り」「資源(人財)活用・子ども」「草刈り鳥獣害農業」
大井和 おおはが	2021年 6月～	2021年 11月	379枚 63.0%	2022年 3月～	2024年4月	2022年3月～	・住民全員アンケートをきっかけに定期的な話し合い場も継続実施中。 ・「地域資源」「農地農業」「防災・福祉」「空き家」
倭文西 しとりにし	2019年 6月～	2019年 10月	604枚 83.9%	2020年 3月～	2022年6月～	2020年10月～	・住民全員アンケートをきっかけに定期的な話し合い場も継続実施中。 ・「福祉・防災」「空き家・草刈」「子ども・子育て」「交流・観光」
西川 にしがわ							
井和 はが	2025年 1月～	2025年 10月	401枚 94.8%	2026年 2月～		2026年4月～	・防災事業をきっかけに井和地区全体で定期的に話し合いの場を継続 ・今後の取組みをより明確にするために住民全員アンケートを実施
江与味 えよみ	2021年 9月～	2021年 12月～	317枚 93.7%	2022年 6月～	2025年12月	2022年10月～	・住民全員アンケートをきっかけに定期的な話し合い場も継続実施中。
北和気 きたわけ	2021年 10月～	2022年 3月～	991枚 76.2%	2023年 10月～	2024年5月	2023年3月～	・住民全員アンケートをきっかけに月1回の会議を継続中。 ・部会的テーマ「空き家」「健康・福祉」「文化・未来」「環境・防災」
南和気 みなみわけ	2024年 9月～	2025年 7月	362枚 73.6%	2026年 2月～		2026年4月～	・小規模多機能自治に取組む以前から3部会でのイベント実施 ・住民全員アンケートの結果をもとにイベントや体制の再構築を図る
吉岡 よしおか	2024年 8月～	2025年 3月	836枚 89.8%	2025年 12月～		2026年4月～	・防災事業をきっかけに吉岡地区全体で2022年度に話し合いの場実施 ・住民全員アンケートから吉岡全体での取組みを本格的に検討
柵原本庁 やなはらほんちょう							
飯岡 うつか	2022年 6月～	2023年 7月～	484枚 約8割	2023年 11月～		2024年2月～	・住民全員アンケートをきっかけに定期的な話し合い場も継続実施中。 ・部会的テーマ「防災空き家草刈り」「子どもみんなの集まる場」